

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援センター クローバー

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

21 日

法人（事業所）理念		1、共に歩む福祉 2、心で育む福祉 3、地域に広がる福祉		
支援方針		何らかの原因で発達に遅れや特性がみられる未就学のお子さんに対し、日常生活における基本動作や知識・技術を習得し、集団生活に適応できるよう支援していきます。		
営業時間		8時30分～14時30分 月曜日～金曜日のうち週3日	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	食事・整容・更衣・排泄などの基本的な生活動作と集団生活を送るためのスキルを身に着けることを目標に支援しています。出来るようになったことを保護者と共有し日々の生活の向上につなげていきます。日々の様々な変化を見落とさず、健康状態の維持改善に繋げていきます。		
	運動・感覚	殆どのお子さんが感覚に課題を抱えています。多くは感覚過敏や感覚鈍麻を併せ持ちそれゆえに生活動作の習得に困難さがあったり、運動面・認知面にも大きく影響を与えています。それぞれの課題を紐解き、個々に合わせた支援方法を選択し実施していきます。自分の体を感じボディイメージができることで運動面の変化を引き出します。また、気持ちや力加減などのコントロールの力も育てていきます。		
	認知・行動	それぞれの持っている力を発揮できるような環境を提供します。それぞれに合わせた理解の促しやそのための支援方法を熟考し、個々が「理解して取り組み、出来た！」という経験につなげ自尊心を育みます。良い行動悪い行動などを明確に理解できるよう本人に合わせた方法を選択し、良い行動の習慣化につなげます。		
	言語コミュニケーション	コミュニケーションの楽しさや必要性を感じられることを大切にしています。コミュニケーションの方法はサインや絵カードなど個々に合わせて選択します。自ら発信できる方法も伝えます。言語にはまず発声から。楽しさを笑い声で、発声の抑揚や音の違いも大切にしていきます。友達とのやり取りの場面では大人が黒子になり「相手のセリフ、自分のセリフ」わかりやすく伝えていきます。		
	人間関係社会性	人と遊ぶ、人と交わる楽しさを感じられるような遊びを提供します。相手を意識できるようになると楽しく遊ぶためのルールや順番などを伝えていきます。相手の気持ち、自分の気持ちの違いに気づいたり、思いが通らない時の対処方法など、成長に合わせ学びの幅を徐々に増やしていきます。		
家族支援		日々の生活の中で困り感や不安を抱えたまま過ごさないように気軽に相談できるようコミュニケーションを大切にしています。ご兄弟の相談なども受け付けています。	移行支援	小学校への入学、保育園幼稚園などそれぞれが生活している地域で生き生きと生活が送れるよう周囲の理解と支援の共有が得られるように働きかけていきます。
地域支援・地域連携		療育教室や各園や学校への後方支援を行っています。子育てのサポートを担う各機関とも連携しています。	職員の質の向上	事業所内研修やそれぞれの専門分野の研修会、外部研修などに積極的に参加しています。事業所内では毎月カンファレンスを行い支援の統一化を図っています。
主な行事等		遠足、プール遊び、ハロウィン、クリスマス会、お楽しみ会、お別れ会、参観会、保護者茶話会等		